



玉川通信

学校だより NO 9
平成29年 1月号
昭島市立玉川小学校
校長 岡部 操



あけましておめでとうございます

— 美しい日本語は日常五心から —

校長 岡部 操

平成29年の新年を迎え、玉川小学校の3学期がスタートしました。校庭から見える富士山は雪化粧も美しく気持ちを新たにさせてくれます。今年の冬休みは寒さが厳しかったですが、各家庭におかれましては、楽しい家族のふれあいができたでしょうか。

さて、日本には古くから「言霊：ことだま」という言葉があります。これは、人々が言葉には魂が宿っていると考えていたのです。昔から言葉を大切にしてきた国であり、自分の言葉を大事にして、相手を傷つけないようにいろいろな表現方法を工夫してきました。これらのことが、多様で美しい日本語を生んだのではないのでしょうか。

そこで、今の子供たちはどうでしょうか。私は子供たちと接していて次のようなことが気になります。それは、安易に流行語を使って語彙が少なくなっていることや、人を傷つけるような言葉や悪い言葉を、平気で無意識のうちに言う人が増えているのではないかということです。さらに、その場面も直接的に音声言語で伝えるだけでなく、SNS や通信ゲーム上での文字言語の場面も多くなっているようです。とくに相手の顔が見えずに、通信画面上でのやり取りでは、その気持ちが十分に伝わらない懸念もあります。

昨年昭島市では、ネットいじめ防止サミットを行いました。玉川小では次のSNS 学校ルールを宣言してきました。

「考えよう 相手の気持ち」

・悪口や個人情報は書き込まない。

・受け取る人の気持ちを考えてから送信する。

ぜひ、各ご家庭におかれましては、ネット等のトラブルが起きないように家庭ルールを定めるようお願いいたします。以下にSNS 東京ルールを記載するので参考にさせていただくと幸いです。

- ① 一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- ② 自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③ 必ずフィルタリングをしよう。
- ④ 自分や他者の個人情報を書き込まないようにしよう。
- ⑤ 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

また、子供のお手本になるように、まず私たち大人が、美しい日本語を使って話し、言語環境を整える必要があります。そのため、日常的に次のような気持ちで生活することが大切ではないのでしょうか。

「はい」という素直な心。「すみません」という反省の心。「おかげさまで」という謙虚な心。「私がします」という奉仕の心。「ありがとうございます」という感謝の心。これら「日常五心」を規範にしていけば、自ずと言葉も丁寧になり相手意識も高まるはずで。

本年も児童が健やかに成長するように、教職員一同、人権感覚を高めて指導していくよう努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

学年紹介 ～1年生～

担当：1年担任

玉川小学校に入学して9カ月が経ちました。入学してから友達や上級生と一緒に活動して、過ごしてきました。

2学期は、運動会や展覧会、いちょうっ子まつりなどたくさんの行事に取り組みました。運動会では、大きな花笠を持ち、元気いっぱい花笠音頭を踊りました。展覧会では、豊かな想像力を生かして、作品作りに取り組みました。行事を通して一人一人が自分の力を出し合って、みんなで協力することの楽しさを味わうことができました。また、学習では1学期に学習した平仮名に加え、漢字や片仮名、繰り上がり・繰り下がりのある計算に一生懸命取り組みました。

3学期は、1年間学んできたことをまとめる時期です。2年生に向けて、心身ともに成長できるようにしていきます。



いちょうっ子祭り!

担当 山田 一樹

12月10日(土)の学校公開では、たくさんのご参観をありがとうございました。ふだんの授業の様子とは違う、異年齢集団の中でのお子様の様子はいかがでしたでしょうか。

「支え合い みんなでつくる いちょうっ子祭り」が、今回のいちょうっ子祭りのテーマでした。

6年生のたてわり班長が中心となり、めあて決めや準備を進めてきました。どの班も、1年生から6年生がそれぞれ役割をもち、互いに支え合いながら作業をすすめ、本番では、互いに楽しそうに活動する姿がたくさん見られました。

その様子から、今年のいちょうっ子祭りは、大成功に終わったと言えるのではないのでしょうか。この成功を大きく支えてくれていたのは、やはり6年生の存在です。6年生が優しく下級生のお世話をし、自分だけの楽しさを追求するのではなく、みんなの楽しさを常に考えて行動をしてくれたことは、全校の児童にとって、本当に良いお手本となっていました。

1年生にとっては初めてのいちょうっ子祭り、6年生にとっては最後のいちょうっ子祭り、今後も互いに協力し合いながら、玉川小学校の良き行事として、玉川小学校の伝統として、続いていくことを願っています。



※保護者の皆様には、段ボールやペットボトルなど、材料へのご協力大変ありがとうございました。

学校では、環境のことも考え、自宅から持ってきた材料については、各班協力して持ち帰りました。今後も、学校教育にご理解とご協力をよろしく願いいたします。